

平成30年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の 勤務病院の決定について

区分	勤務開始	病院名	所在地	配置数	備考
地域勤務 (5人)	H29.4	高梁中央病院	高梁市	1人	1期生 (勤務2年目)
	H29.4	金田病院	真庭市	1人	1期生 (勤務2年目)
	H30.4	成羽病院	高梁市	1人	1期生 (勤務1年目)
	H30.4	総合病院落合病院	真庭市	1人	1期生 (勤務1年目)
	H30.4	湯原温泉病院	真庭市	1人	2期生 (勤務1年目)
選択研修 (4人)	H31.4	岡山大学病院	岡山市	3人	2期生 ※ H30.4月から、新専門医 制度による専門医研修プロ グラムを専攻 (内科2人、産婦 人科1人、精神科1人)
	H31.4	津山中央病院	津山市	1人	

地域勤務病院の決定のポイント

- ① 医師の地域偏在是正の観点から、人口当たり医療施設従事医師数が県平均を下回る県北へ配置する。
- ② 地域の医師不足、病院の教育指導体制や地域で果たしている役割等の総合評価による上位病院から、地域勤務を希望する地域卒卒業医師の人数の2倍程度の数の病院を勤務候補病院として選定する。
- ③ 地域卒卒業医師と勤務候補病院の双方の希望を踏まえてマッチングを行い、勤務病院を決定する。（ただし、1病院当たり1人まで。）
- ④ 既に地域卒卒業医師を配置している病院へは2人目を配置しない。

※ ①～③平成29年度・平成30年度の配置方針（岡山県医療対策協議会）

地域卒業医師の勤務病院選定方法 (岡山県地域医療支援センター作成)

	選定条件	評価項目	配点
①	地域の医師不足	医師数・年齢、病院アクセス	18点
②	教育指導体制	学会・論文発表、医学生等受入、院内勉強会等	17点
③	地域で果たしている役割	認定施設状況、地域包括ケア担当機能、地域住民との関わり、近隣病院等との協調	14点
④	地域の受入体制 (市町村の取組)	医療従事者確保や地域医療の充実に寄与する施策、医療従事者の把握状況等	13点
⑤	待遇	年間総収入、各種手当数、学会・勉強会の出張条件等	13点
⑥	救急車の受入状況	医師1人当たりの受入台数	11点
⑦	新専門医制度への取組状況	基本診療領域における基幹施設・連携施設の認定状況	9点
⑧	経営状況	医業利益率、医師1人当たりの医業収益	5点
	計		100点

平成30年4月に地域枠卒業医師の配置を希望する
 県北3保健医療圏における病院の評価結果

病院名		市町村	得点									
			得点									
			① 地域の 医師不足	② 教育 指導 体制	③ 地域 で果 たし てい る役 割	④ （地 域の 受入 体制 ） （市 町村 の取 組）	⑤ 待 遇	⑥ 公 的救 急車 の受 入状 況	⑦ 新 専 門 医 制 度 へ の 取 組 状 況	⑧ 経 営 状 況	合 計	
①	渡辺病院	新見市										
②	成羽病院	高梁市										
③	落合病院	真庭市										
④	湯原温泉病院	真庭市										
			配点	18	17	14	13	13	11	9	5	100
			平均	12.2	10.2	8.0	10.8	8.6	5.8	4.8	3.1	63.4
			最高	18.0	13.6	14.0	13.0	13.0	11.0	6.0	5.0	80.2
			最低	7.2	3.4	2.8	6.5	2.6	2.2	0.0	1.0	45.3
			※地域枠卒業医師の配置を希望する県北3保健医療圏の病院の評価結果(対象:13病院)									
⑤	長谷川記念病院	新見市										
⑥	勝山病院	真庭市										

地域卒業医師の義務年限期間中の勤務パターン

<参考例>

義務年限開始

義務年限終了

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
【例1】	臨床研修		地域勤務		選択研修		選択研修【中断】	地域勤務		
【例2】	臨床研修		地域勤務		選択研修		地域勤務			
【例3】	臨床研修		選択研修	地域勤務		選択研修	地域勤務			

指定業務	従事期間	指定業務の内容
臨床研修	2年	岡山県内の大学病院又は岡山県内の基幹型臨床研修病院が行う研修
地域勤務	5年以上	岡山県知事が指定する県内の医師不足地域の医療機関での診療
選択研修	2年以内	岡山県内の専門研修基幹施設等が行う研修

(注) 義務年限期間の中断制度 (2年を超えて選択研修を受ける場合は2年以内等) がある。

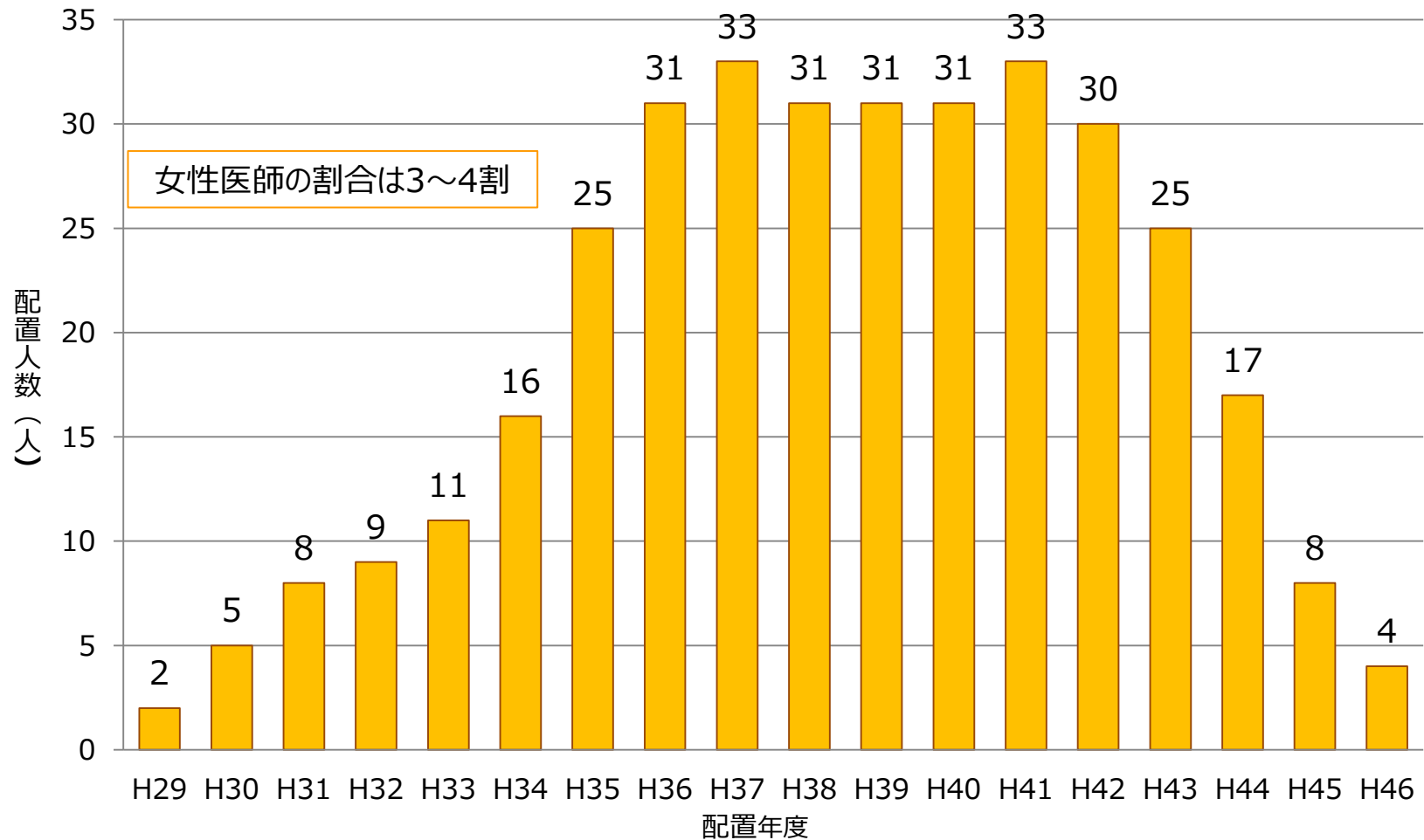
医師養成確保奨学資金の貸与

貸与対象者	岡山大学と広島大学の医学部医学科地域枠・岡山県枠の平成21年年度から平成31年度までの入学者
貸与期間	在学中の6年間
貸与額	月額20万円（6年間総額1,440万円）
貸与者	平成21年度～平成29年度入学者 62人 平成30年度～平成31年度入学者 12人（今後予定） 計74人
返還免除条件	医師免許取得後、義務年限期間（貸与期間の1.5倍の9年間）を、岡山県知事が指定する県内の医療機関における医療業務（以下「指定業務」という。）に従事すれば、奨学資金の返還が全額免除される。 なお、返還する場合は、貸与額に違約金（年10%）を加えた額（約1,870万円）の一括返還となる。

<地域枠卒業医師・学生の状況>

地域枠卒業医師	地域枠卒業1期生 4人（地域勤務は平成29年4月～2人、平成30年4月～2人） 地域枠卒業2期生 5人（臨床研修2年目、地域勤務は平成30年4月～1人、次年4月～4人） 地域枠卒業3期生 6人（臨床研修1年目）
地域枠学生	岡山大学 34人（6年：4人、5年：2人、4年：7人、3年：6人、2年：8人、1年：7人） 広島大学 13人（6年：3人、5年：2人、4年：2人、3年：2人、2年：2人、1年：2人）
今後入学予定	岡山大学8人（H30：4人、H31：4人）、広島大学4人（H30：2人、H31：2人）

地域枠卒業医師の医師不足地域への配置見通し



(注) H29.12.19現在。上図はシミュレーションであり、地域枠卒業医師の地域勤務希望時期等により変わる。